



厚生労働省奈良労働局発表
平成28年11月1日

担 当	奈良労働局労働基準部健康安全課
	課長 直野 泰知
	産業安全専門官 西川 聡
	電話 0742-32-0205

労働災害による死亡者が急増！

～死亡災害多発に伴う緊急警報を発令

労働基準部長が経済団体に対し、職場の安全総点検を直接要請～

県内では、労働災害による死亡者が8月から10月にかけて5人にも上り、今年に入って12人目となりました。

厚生労働省奈良労働局（局長 吉野彰一）は、労働災害を防止するため、死亡災害多発に伴う緊急警報を発令するとともに、関係機関に対して職場の安全について総点検を要請することとしました。

〈ポイント〉

- 1 平成28年の労働災害による死亡者は12人。8月から10月の間に5人が死亡。
 - ・平成28年の労働災害による死亡者数は、10月31日までの間に12人となりました。平成27年の同時期の死亡者数7人と比較すると、約2倍に増加しています。
 - ・また、平成28年の死亡者は、8月から10月までの間に5人となっています。8月から10月の間に5人が死亡したのは、過去10年間で最も多い水準です。

2 奈良労働局の対応

奈良労働局では、労働災害による死亡者が増加していることに伴い、緊急警報を発令するとともに、関係機関に対して、職場の安全総点検を実施するよう要請を行います。

特に、11月2日には、労働基準部長から奈良経済産業協会に対して直接要請を行います。

1 平成 28 年の死亡災害の特徴等※

- ・平成28年の労働災害による死亡者は、10月31日までで12人となっています。
- ・業種別には、製造業 4 人、建設業 2 人、陸上貨物運送事業 2 人、清掃・と畜業 2 人、その他の業種 2 人となっており、製造業で例年に比べ多発しています。
- ・死亡者の約 6 割は50歳以上でした。未熟練労働者のみならず、危険な作業に慣れたベテラン労働者の死亡が多発していることも懸念されます。

※一部に調査中のものがあり、業種分類などは今後変更される場合があります。

2 奈良労働局の今後の対応

(1) 死亡災害多発に伴う緊急警報の発令

平成28年の労働災害による死亡者数は、10月31日までの間に12人にもものぼり、特に8月から10月までの間に5人の方が相次いで亡くなっていることから、本日付けで「死亡災害多発に伴う緊急警報」を発令し、広く県内に注意喚起を行います。

(2) 職場の安全衛生総点検の要請

事業者団体、労働災害防止団体の関係 96 団体・機関に対して、傘下会員事業場等に職場の安全衛生総点検を実施するよう要請を行います。

特に、下記団体に対しては、奈良労働局労働基準部長から直接要請を行います。

奈良経済産業協会への要請（取材可）

日時：平成28年11月2日（水）午前9時30分～

場所：奈良経済産業協会（奈良市柏木町129-1）

要請者：奈良労働局労働基準部長